

平成 27 年 8 月 14 日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会
医療委員会

骨髄採取時における細胞数の途中カウントについて(お願い)

平素は、骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、一部の採取施設において、細胞数の途中カウントを実施していないことが分かりました。これらの施設では、採取予定量が少ない場合、細胞数の途中カウントを実施せず、予定量程度での採取終了後に細胞数カウントを行っているため、結果として、患者体重あたりの細胞数が $1.0 \times 10^8/\text{kg}$ 以下だったという事例が発生しました。

この事例を踏まえて検討の結果、患者保護の観点から、下記のとおり「骨髄採取マニュアル」の一部基準を変更しますので、ご対応くださいますようお願いいたします。

<骨髄採取量と細胞数のカウントについて> (「骨髄採取マニュアル」第四版 56 頁参照)

【現行】

- (4)②骨髄採取計画量以上の採取は原則行わないこととするが、採取の途中で細胞数^(*)が少ないときは、最大採取量の範囲内で骨髄採取計画量を超えての採取は可能である。



【新基準】

- (4)②骨髄採取計画量を採取した時点で細胞数が少ない場合、もしくは、採取の途中カウントで細胞数^(*)が少ないと予想される場合は、最大採取量の範囲内で骨髄採取量を増量する。

*細胞数： 患者体重 1 kg あたりの有核細胞数 3.0×10^8 以上を目標とすること
ただし、ドナーの安全を考慮し「最大採取量」を超えないこと。
3.0 以上を目標とするが、努力しても細胞数が少ない場合はやむを得ない。

いかなる場合も「最大採取量」を超えて骨髄を採取しないこと。

※最大採取量とは、ドナー上限量、採取上限量の少ない方のこと

※上記については、次回「骨髄採取マニュアル」改訂時に反映します。

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナーコーディネート部 TEL：03-5280-2200
移植調整部 TEL：03-5280-4771